

# 河川基金助成事業

## 「釣り人による清掃活動」

助成番号： 2024 - 6111-024

淡海を守る釣り人の会  
木村 建太

2024 年度

様式6

1. 川づくり団体部門

[概要版報告書]

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2024-6111-024	釣り人による清掃活動	淡海を守る釣り人の会 木村 建太
助成事業の要旨	<b>活動の目的</b>	
	<p>淡海を守る釣り人の会は、主に関西在住の釣り愛好者たちによる任意団体である。約2か月に1回程度、琵琶湖・淀川流域の水辺環境や動植物の保全を目的に、地域の環境団体・企業・行政と協働し、水辺の清掃活動を実施している。また、生物多様性保全を目的に、水辺の小さな自然再生やヨシの利活用に取り組むほか、水辺の事故防止を目的に、ライフジャケット着用やマナーに関する啓発、その他親水活動や環境教育にも取り組んでいる。</p>	
	<b>事業テーマ</b>	(申請書に記載した「申請テーマ」を記載してください。)
	<b>【実施内容】</b>	
	<p>助成事業である、<u>当会主催の琵琶湖および周辺河川の清掃活動「釣り人による清掃活動」を、2024年度は5回開催した。</u>助成事業に関連して、共催での清掃活動の実施や、琵琶湖河川事務所主催のイベントにおける各種体験ブースの出店なども複数実施した。</p> <p>また、これらの活動の功績が認められ、<u>滋賀県土木交通部から「地域の川を守る自主活動 土木交通部長表彰」を、公益財団法人河川財団から「令和5年度助成 河川基金 川づくり団体部門 優秀成果表彰」をそれぞれ受賞した。</u></p> <p>助成事業には、一般の参加者に加え、<u>タイアップ企業・団体の役員および職員のほか、滋賀県議会議員や守山市長なども活動に参加した。</u>釣り人による清掃活動においてはタイアップ企業から寄付をいただき、滋賀セブンの森においては一般財団法人セブン-イレブン記念財団より助成をいただいている。</p> <p>活動内容は、活動区域の中で複数のチームに分かれ、落ちているごみを回収し、本部に持ち寄って分別を行うというものである。そのほか、清掃活動開始前に水辺で採取した水生生物を水槽で展示し、観察会も実施している。滋賀セブンの森においては、<u>清掃活動終了後に、活動区域近くの旧河道において生物調査や水辺の小さな自然再生を実施し、生態系保全にも取り組んでいる。</u></p> <p>また、当会はこれまでにいただいた助成金を活用し、貸出用のライフジャケットを100個以上用意している。<u>助成事業の実施時には参加者全員がライフジャケットを着用できるよう無償で貸出しを行うなど、ライフジャケットの普及啓発にも取り組んでいる。</u></p>	
<b>【成果】</b>		
<p>5回実施した助成事業において、<u>合計669人が清掃活動に参加した。</u>また回収したごみの総量は、可燃物376袋(45L)、ペットボトル4,014本、缶1,604本、瓶541本、その他不燃物20袋(45L)であった。</p> <p>水辺の小さな自然再生においては、琵琶湖と旧河道をつなぐ活動を続け、生物の定年調査を行ってきた結果、これまで見られなかった生物種が現れたほか、フナ類の1歳魚が見られるなど、<u>生物多様性保全への寄与が成果として確認できた。</u></p>		
<b>【今後の展望】</b>		
<p>当会は新設川づくり団体として5年間、流域川づくり団体として2年間、河川基金の助成を受けたお陰により活動を拡大してきた。現在は多くの企業・団体から協賛をいただくまでに活動規模が拡大できたため、<u>2025年度からは自立的な運営に挑戦する</u>ところである。</p> <p>環境問題が世界的な問題となっているものの、子どもの自然体験機会が減少している今日において、今後も、清掃活動や生物観察などを通して、多くの人々が自然環境に親しみをもってもらえる場を提供し続けたい。</p>		

※ポイントとなる事項に適宜アンダーラインを引いてください

様式 7

2.川づくり団体部門

[自己評価シート]

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2024-6111-024	釣り人による清掃活動	淡海を守る釣り人の会 木村 建太
助成事業実施成果の自己評価	<p><b>【当初目標の達成度】</b>                      4つの成果目標は、全て達成できたといえる。                      水辺の清掃活動の範囲・規模の拡大や他団体との連携強化について、第31回釣り人による清掃活動は、新たな連携先として近隣のショッピングモールに駐車場を借りることで、当会にとって初めての場所で活動を実施できた。第32回釣り人による清掃活動では、MUGから多くの関係者が参加し、166袋(45L)の可燃ごみと1,550本のペットボトルを回収することができた。                      ライフジャケットの着用啓発については、今年度も活動時には参加者全員にライフジャケットを貸出することができた。またライフジャケット着用を促すステッカーの配布も実施した。                      マナー啓発については、瀬田川漕艇場との共催での清掃活動を実施し、漕艇場付近の釣り禁止区域や船舶利用のルールをSNSで発信した。行政との連携についても、新たに大津市とのタイアップでの清掃活動を実施できた。                      水辺の小さな自然再生については、自然再生を行ってきた大川において、生物の定年調査の結果、これまで見られなかったカワニナやタイコウチといった種が見られるようになったほか、フナ類の当歳魚および1歳魚が見られた。</p> <p><b>【活動の創意工夫点】</b>                      活動PRについては、主にSNSを活用して参加者募集をおこなった。SNSを見て活動に興味を持ち、本格的に運営スタッフとして参加した若手メンバーが現れた。運営資金確保については、協賛企業の名前を付けた清掃活動を実施するという形で、多額の寄付金をいただいた。寄付を考える際に、活動成果も大事だが、SNSやホームページといったWeb上での発信力も同時に気にしている企業が多い印象を受けた。                      また、清掃活動だけでなく、生物多様性保全に向けた活動を強化した。</p> <p><b>【地域や河川管理者との連携】</b>                      活動の実施にあたり、河川管理者や公園管理者、警察と事前に連絡を取り、適切な河川利用を徹底している。滋賀セブンの森においては、一般財団法人セブン-イレブン記念財団、滋賀県、守山市と当会の4者において、2019年から10年間継続して活動を行う協定を結んでいる。                      今年度は初の取り組みとして、大津市との連携で「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ2025」連携事業 釣り人による清掃活動 with 大津市を開催した。同事業には、国スポ・障スポ2025のカヌー競技とテニス競技が行われる瀬田川・大石地区周辺において、滋賀県カヌー協会、滋賀県テニス協会、大石学区自治連合会との協力のもと清掃活動を実施した。                      2025年2月には、これらの地域貢献が評価され、滋賀県土木交通部より「地域の川を守る自主活動 土木交通部長表彰」を受賞した。</p> <p><b>【今後の展望】</b>                      今後は地域における川づくり団体として、河川管理者と河川利用者の間をつなぐ役割が求められる。例えば、2024年度に新たに当会に入会した若手メンバーは、彼にとって思い入れのある宇治川で清掃活動を主催したいと考えており、河川管理者を紹介するなど当会がノウハウを提供することで、清掃活動を3度開催することができた。                      その他、企業とタイアップした清掃活動については、協賛メニューをより明確化し、同時に広報力の強化を図ることで、継続して活動できるよう取り組んでいく。</p>	

## 1. はじめに

淡海を守る釣り人の会は、主に関西在住の釣り愛好者たちによる任意団体である。約2か月に1回程度、琵琶湖・淀川流域の水辺環境や動植物の保全を目的に、地域の環境団体・企業・行政と協働し、水辺の清掃活動を実施している。また、生物多様性保全を目的に、水辺の小さな自然再生やヨシの利活用に取り組むほか、水辺の事故防止を目的に、ライフジャケット着用やマナーに関する啓発、その他親水活動や環境教育にも取り組んでいる。

## 2. 活動の内容

### 2.1 2024年度における当会の主な活動

#### 2.1.1 助成事業「釣り人による清掃活動」一覧

助成事業として採択を受けた、当会主催の「釣り人による清掃活動」を、2024年度は下記の通り実施した。

これら助成事業の成果報告は、次節 2.2 以降に記載している。

- 2024年4月21日(日) 第31回釣り人による清掃活動 with AXSEED
- 2024年5月19日(日) 第10回滋賀セブンの森
- 2024年10月27日(日) 第11回滋賀セブンの森
- 2024年11月24日(日) 第32回釣り人による清掃活動 with MUFU
- 2025年3月23日(日) 「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」連携事業  
釣り人による清掃活動 with 大津市

#### 2.1.2 助成事業に関連する活動

上記の活動のほか、以下の活動の開催や参加をおこなった。

“水辺の匠”とは、「ウォーターステーション琵琶の会」と「琵琶湖河川事務所（アクア琵琶）」が主催するイベントである。当会は親子向けの体験ブースを出店し、①ルアーの色塗り体験、②ルアーの試投・ライフジャケットの着用体験、③ヨシを使った紙すき・額作り体験の3種類を運営した。

“琵琶湖・淀川流域シンポジウム×ごみゼロ大作戦”では、空き缶をアップサイクルしたルアーを作る体験ブースを運営し、琵琶湖疏水周辺の清掃活動にも参加した。

- 2024年4月13日(土) 第7回琵琶湖漕艇場清掃活動（共催）
- 2024年7月21日(日) 第17回水辺の匠（出店）
- 2024年8月3日(土) 第1回宇治川清掃活動（協力）
- 2024年11月16日(土) 第2回宇治川清掃活動（協力）
- 2024年12月1日(日) 第16回淡海の川づくりフォーラム（発表）
- 2024年12月8日(日) 第10回水辺の匠クリスマスイベント（出店）
- 2024年12月14日(土) 第8回琵琶湖漕艇場清掃活動（共催）
- 2025年2月16日(土) 第3回宇治川清掃活動（協力）
- 2025年3月12日(水) 琵琶湖・淀川流域シンポジウム×ごみゼロ大作戦（出店）



写真 2.1 第 17 回水辺の匠にて、ルアー試投体験とライフジャケットの普及啓発および着用体験をしている様子



写真 2.2 第 3 回宇治川清掃活動にて、回収したごみの前で撮影した集合写真

### 2.1.3 表彰

2024 年度には、当会は以下の表彰を受賞した。

- 2024 年 12 月 1 日 (日) 第 16 回淡海の川づくりフォーラム これからの水辺を守るで賞  
(滋賀県土木交通部流域政策局広域河川政策室、淡海の川づくりフォーラム実行委員会より)
- 2025 年 2 月 7 日 (金) 地域の川を守る自主活動 土木交通部長表彰  
(滋賀県土木交通部より)
- 2025 年 3 月 1 日 (土) 令和 5 年度助成 河川基金川づくり団体部門 優秀成果表彰  
(公益財団法人河川財団より)



写真 2.3 令和 6 年度「地域の川を守る自主活動」土木交通部長表彰式にて (滋賀県庁)



写真 2.4 令和 6 年度川と人をつなぐ活動成果発表会 優秀成果表彰式にて (公益財団法人河川財団)

## 2.2 助成事業の成果報告

### 2.2.1 第31回釣り人による清掃活動 with AXSEED



#### 第31回釣り人による清掃活動 実施要領

##### 1. 趣旨

釣り人による清掃活動は、琵琶湖への恩返し of 気持ちで清掃活動をおこないます。  
今回の活動区域は、釣り人が多く訪れる場所で、また湖岸には琵琶湖固有種であるホンモロコが産卵するところでもあります。波打ち際(特に柳の根元周辺)のゴミを回収することは希少な在来種の保全にもつながります。また近くのショッピングモールやスーパー銭湯に来られた方が琵琶湖を眺められます。綺麗な湖岸、琵琶湖を見てもらうためにもゴミを減らしたいと思います。皆さんのご協力をよろしくお願いします。

##### 2. 活動内容

開催日	2024年4月21日(日) (小雨決行・荒天中止)
活動時間	8:00~10:00 (受付は8:15から開始します。8:30までに済ませてください。)
活動範囲	琵琶湖大橋東詰めからピエリ守山港棧橋まで
集合場所	ピエリ守山裏の湖岸道路 (別紙参照: 赤枠)
参加費	無料 (カンパのご協力をお願いします)
駐車場	ピエリ駐車場 Gゾーン: 最南部 (別紙参照: 黄枠)
活動の内容	湖岸に落ちているゴミの回収 ※粗大ごみは拾わないでください ※危険のない範囲で回収
活動要領等	8:15 受付開始 ・受付終了後、ゴミ袋と軍手と tong をもらって下さい。 8:30 開会式 挨拶・内容説明 8:40 清掃活動開始 (適宜) 分別開始 ・可燃ゴミ、ペットボトル、空き缶、空き瓶、その他に分別して集計をおこないます。 9:45 清掃活動終了・集合写真撮影および 閉会式(挨拶・解散) 10:00 駐車場から完全撤収
服装・持ち物	動きやすく汚れてもよい服装 (足元は長靴推奨) ライフジャケット (複数お持ちの方は貸し出しにご協力ください)
用具	tong、ゴミ袋、軍手は事務局で用意します。
災害補償	事務局で一括して傷害保険に加入します。
当日連絡先	事務局電話番号 080-3134-9767 (イベント当日のみつながります)
雨天時	中止の場合前日までに各SNSで連絡します。何も発表がない場合は決行です。

いつもより活動時間が短くなっています

②活動範囲・集合場所（守山市ピエリ守山湖岸）

駐車場 ピエリ南駐車場（駐車場から集合場所まで徒歩3分）

（ピエリ守山様の駐車場をお借りするため10時まで完全に完全撤収予定です）



写真 2.6 第 31 回釣り人による清掃活動 with AXSEED 実施要領書 p. 2

#### 注意・確認事項

- ①清掃活動中の不意による事故、ケガに対応する損害保険に加入します。  
手続きは主催者が一括でおこないます。
- ②ゴミ回収の際は必ず軍手を着用してください。
- ③一般ゴミ（生活ゴミ）のみとします。粗大ゴミ、粗ゴミは拾わないでください。
- ④動物の死骸（魚、鳥など）は拾わないでください。
- ⑤他の公園、水辺の利用者さんの迷惑にならないように作業をしてください。
- ⑥ライフジャケット着用の啓発のため着用を義務とします。
- ⑦作業時は転倒、落水に注意してください。
- ⑧ウェーダーを履いての単独作業は禁止です。必ず複数名で行ってください。
- ⑨小さなお子様連れの方は目を離さないよう特に注意してください。
- ⑩休憩、水分補給は各自適宜をお願いします。
- ⑪荒天は中止、小雨決行とします（事前に連絡を回します）。

以上

本活動は公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。



河川  
基金

公益財団法人河川財団  
による河川基金の助成  
を受けています

# 第31回釣り人による清掃活動報告書

淡海を守る釣り人の会は、2024年4月21日(日)に31回目の釣り人による清掃活動を実施しましたので、以下報告します。

## 概要

- 日時 2024年4月21日(日) 8:00～10:00
- 場所 守山市琵琶湖大橋東詰エリア(琵琶湖大橋下～ピエリ守山港棧橋)
- 主催 淡海を守る釣り人の会 (協力: ㈱AXSEED)
- 参加者 約70名 (AXSEED社員15名、森中守山市長、河井県議、釣り人ら)
- 回収ゴミ 可燃物(45L)55袋、ペットボトル590本、缶128個、瓶30個、その他ゴミ2袋

雨天予報で心配したが活動時間はポツポツの雨となり、約70名の参加者が湖岸や石積みだけでなく数日前の強風により草木の中に入り込んだ漂着ゴミをノイバラに苦戦しながら拾った。この時期は琵琶湖固有種であるホンモロコの産卵が盛んであり、この湖岸でも卵が見られた。これからも綺麗な琵琶湖を守るために活動を継続したい。なお今回の活動に関しては大型ショッピングモールのピエリ守山様にご理解をいただき、一部駐車場をお貸しいただきました。感謝申し上げます。



次回活動は5/19(日)の滋賀セブンの森(守山市第二なぎさ公園清掃活動)です。

写真 2.8 第31回釣り人による清掃活動 with AXSEED 報告書

## 2.2.2 第10回滋賀セブンの森

### 第10回滋賀セブンの森活動実施要領

#### 1. 趣旨

滋賀セブンの森は、セブン-イレブン記念財団、滋賀県、守山市、淡海を守る釣り人の会が2019年に10年間の連携協定を結び、琵琶湖の自然環境の保全・再生をするため守山市に位置する第2なぎさ公園にて清掃活動や親水活動、環境学習を行うものです。

今回は5年目、第10回となる記念の活動となります。そのため通常の活動以外の記念活動も準備中です。

また、活動区域は琵琶湖固有種であるホンモロコの産卵場所でもあり、生物多様性保全に寄与します。

2. 本活動はセブン-イレブン記念財団の助成を受けて活動します。

#### 3. 活動内容

開催日	2024年 5月 19日 (日)
活動時間	(荒天中止の場合は弊会のSNS(X, FaceBook, Instagram)でお知らせします) 9:30~12:00 (受付9:20までにお済ませください)
活動場所	第2なぎさ公園から野洲川河口部まで (変更可能性有)
集合場所	第2なぎさ公園 (守山市今浜) (赤枠)
参加費	無料
駐車場	美崎公園駐車場(黄枠) 駐車場の門は8時に開きます。
活動の内容	湖岸に落ちているゴミの回収。(可燃ゴミ、不燃ゴミ、空き缶、空き瓶、ペットボトル等) ※危険のない範囲で回収してください。
活動要領等	9:00 受付開始 (氏名確認後ゴミ袋とトング貰って下さい) 9:30 開会式 挨拶、活動内容説明 9:45 清掃活動開始 10:30 ゴミカウント・分別開始 ・ゴミ調査のため分類別にカウントします。 11:30 集合写真撮影・閉会式 12:00 終了・解散 *午後から自然再生活動(魚類調査等)を実施予定。
服装・持ち物	動きやすく汚れてもよい服装(足元は長靴推奨) ライフジャケット(貸し出し有)
用具	トング、ゴミ袋、軍手を事務局で用意します。
災害補償	事務局で一括して傷害保険に加入します。
当日連絡先	事務局電話番号 090-8536-8327 (イベント当日のみつながります)

4. 集合場所・駐車場 守山市美崎公園駐車場（黄色の枠）8時開門

5. 活動範囲 第2なぎさ公園から野洲川河口部まで ※変更の可能性有



#### 注意・確認事項

1. 粗大ゴミ、粗ゴミ、袋に入らない大きさのゴミは拾わないでください。
2. 動物の死骸（魚、鳥など）は拾わないでください。
3. 他の公園、水辺の利用者さんの迷惑にならないよう作業をお願いします。
4. ライフジャケット着用の啓発のため活動中は着用をお願いします。
5. 小さなお子様連れの方は目を離さないよう特に注意をお願いします。
6. 休憩、水分補給は各自適宜をお願いします。
7. 荒天は中止、小雨決行とします。中止の場合前日 15 時に判断します。また、中止の場合は SNS (X, FaceBook, Instagram) でお知らせします。
8. ペットボトルの中身は拾ったその場で出して下さい。

#### ゴミ調査の注意事項

回収したゴミは一旦ブルーシートに出し分別調査（カウント）します。

①ペットボトル ②金属缶類 ③ガラス瓶類 ④レジ袋 ⑤カップ型飲料容器  
集めたゴミの数量を調査（カウント）します。ご協力宜しくお願いします。

以上

写真 2.10 第 10 回滋賀セブンの森 実施要領書 p.2

滋賀セブンの森においても、同様の実施要領書を作成し、公開している。

## 第10回滋賀セブンの森

淡海を守る釣り人の会は琵琶湖守山の第2なぎさ公園において第10回滋賀セブンの森を開催しました。以下報告します。

### 概要

- ・日時 2024年5月19日（日）9時～14時
- ・場所 琵琶湖第2なぎさ公園
- ・主催 淡海を守る釣り人の会
- ・共催 セブンイレブン記念財団 滋賀県 守山市
- ・参加者 219名（釣り人、業界関係者、一般参加者など）
- ・回収ゴミ 可燃ごみ(45L)77袋、ペットボトル557本、空き缶122個、空き瓶82個、その他不燃物(45L)2袋

第10回滋賀セブンの森として、琵琶湖岸の清掃活動と水辺の小さな自然再生、琵琶湖の生き物の展示やホンモロコ卵の観察など環境教育を行った。清掃活動では例年と比べゴミの量は少なく、5年間継続してきた清掃活動の成果がみられた。水辺の小さな自然再生では大川にこれまで見られなかったカワニナ類やタイコウチなどの水生昆虫がみられた。また、フナ類の当歳魚および1歳魚が多数採集され、大川内で継続して生活できていることが示唆された。生き物展示やホンモロコの観察会も次世代の子供を中心に大きな賑わいを見せた。今後も活動を継続して琵琶湖の美化維持や次世代に自然を残す活動を継続したい。



開会式の様子



湖岸清掃の様子



ゴミの分別作業



えがおの証明書



大川定期モニタリング



水槽展示

次回第11回滋賀セブンの森は2024年10月27日を予定しています(藤田記)

## 2.2.3 第11回滋賀セブンの森

### 第11回滋賀セブンの森活動実施要領

#### 1. 趣旨

滋賀セブンの森は、セブンイレブン記念財団、滋賀県、守山市、淡海を守る釣り人の会が2019年に10年間の連携協定を結び、琵琶湖の自然環境の保全・再生をするため守山市に位置する第2なぎさ公園にて清掃活動や親水活動、環境学習を行うもので、今回は5年目の折り返しとなります。

また、午後には自由参加で大川の自然再生(メンテナンスとモニタリング)も実施します。これは生物多様性保全に寄与します。

2. 本活動はセブンイレブン記念財団の助成を受けて活動します。

#### 3. 活動内容

開催日	2024年 10月 27日(日)
活動時間	(荒天中止の場合は弊会のSNS(X, FaceBook, Instagram)でお知らせします) 9:30～12:00 (受付9:20までにお済ませください)
活動場所	第2なぎさ公園から野洲川河口部まで(変更可能性有)
集合場所	第2なぎさ公園(守山市今浜) (赤枠)
参加費	無料
駐車場	美崎公園駐車場(黄枠) 駐車場の門は8時に開きます。
活動の内容	湖岸に落ちているゴミの回収。(可燃ゴミ、不燃ゴミ、空き缶、空き瓶、ペットボトル等) ※危険のない範囲で回収してください。
活動要領等	9:00 受付開始 (氏名確認後ゴミ袋とトング貰って下さい) 9:30 開会式 挨拶、活動内容説明 9:45 清掃活動開始 10:30 ゴミカウント・分別開始 ・ゴミ調査のため分類別にカウントします。 11:30 集合写真撮影・閉会式 12:00 終了・解散 *午後から自然再生活動(魚類調査等)を実施予定。
服装・持ち物	動きやすく汚れてもよい服装(足元は長靴推奨) ライフジャケット(貸し出し有)
用具	トング、ゴミ袋、軍手を事務局で用意します。
災害補償	事務局で一括して傷害保険に加入します。
当日連絡先	事務局電話番号 090-8536-8327 (イベント当日のみつながります)

## 第11回滋賀セブンの森報告書

淡海を守る釣り人の会は、滋賀県守山市に位置する第2なぎさ公園において第11回滋賀セブンの森を開催しました。以下報告します。

### 概要

- ・日時 2024年10月27日（日）9時～14時
- ・場所 第2なぎさ公園（守山市今浜町地先）
- ・主催 淡海を守る釣り人の会 セブン-イレブン記念財団 滋賀県 守山市
- ・参加者 約150名（釣り人、セブン-イレブン関係者、一般参加者など）
- ・回収ゴミ 可燃ゴミ57袋（45L）、ペットボトル960本  
缶210個、瓶60個、その他不燃物3袋（45L）

第11回セブンの森として、琵琶湖湖畔の清掃活動と琵琶湖の生き物展示及び小さな自然再生を行った。清掃活動では幼児から高齢者まで幅広い年齢層に参加いただいた。今回はペットボトルの回収量がとても多かったが、可燃ごみの回収量が前回に比べ少なくなった。しかしながらこれからは日々浜辺などに漂着することから今後も継続して活動をしていく。

琵琶湖の生き物展示では、その日に採取した魚類や甲殻類や貝類などの生き物を展示し、多くの子供に琵琶湖の生き物を見てもらった。

小さな自然再生を実施した大川の定期モニタリングでは、特定外来生物の「オオバナミズキンバイ」が繁茂していることが確認された。今後、駆除する予定である。



清掃の様子



清掃の様子



生き物展示の様子



生き物展示の様子



ゴミ分別の様子



子供にえがいの証明書配布



集合写真



大川定期モニタリング



大川のオオバナ  
ミズキンバイ

## 2.2.4 第32回釣り人による清掃活動 with MUFU



### 第32回釣り人による清掃活動 with MUFU 実施要領書

#### 1. 趣旨

釣り人による清掃活動は、琵琶湖や水辺への感謝と恩返しのお気持ちで清掃活動を行います。ご協力よろしくお願いします。

#### 2. 活動内容

開催日	2024年 11月 24日(日) (小雨決行・荒天中止)
活動時間	9:30~12:00 (受付は9:00から開始します。9:30までに済ませてください。)
活動場所	矢橋埴帆島および周辺水路 (別紙参照: 青枠)
集合場所	矢橋埴帆島公園大駐車場 (草津市矢橋町) (別紙参照: 赤枠)
参加費	無料 (カンパのご協力をお願いします)
駐車場	矢橋埴帆島公園大駐車場(別紙参照: 黄枠)
参加対象	琵琶湖を愛するすべての人、釣り人
必須事項	飲み物等は各自準備願います。
活動の内容	湖岸、水辺に落ちているゴミの回収。(可燃ゴミ、不燃ゴミ、空き缶、空き瓶、ペットボトル等) ※危険のない範囲で回収 ※大型ゴミは拾わない
活動要領等	9:00 受付開始 ・氏名記入・名札作成後にゴミ袋と軍手とトングを買って下さい。 9:30 開会あいさつ、内容説明 9:40 清掃活動開始 10:30 分別開始 ・可燃ゴミ、ペットボトル、缶、瓶、その他に分別し集計します。 11:45 集合写真撮影 12:00 清掃活動終了・閉会挨拶・解散
服装・持ち物	動きやすく汚れてもよい服装 (足元は長靴推奨) ライフジャケット (貸出しあり)
用具	トング、ゴミ袋、軍手を事務局で用意します。
災害補償	事務局で一括して傷害保険に加入します。
当日連絡先	事務局電話番号 080-3134-9767 (イベント当日のみつながります)
雨天時	中止の場合は前日までに各SNSでお知らせします。 何も発表がない場合は決行です。

# 淡海を守る釣り人の会 活動報告書



## <概要>

名称 第32回釣り人による清掃活動 with MUFG  
日時 2024年11月24日(日) 9:00~12:00  
場所 琵琶湖 矢橋帰帆島周辺 清掃場所は南北2か所で行った



主催 淡海を守る釣り人の会 / 三菱UFJフィナンシャルグループ  
参加者 約150名

回収ゴミ 可燃(45ℓ) 166袋、ペットボトル1550本、缶1000個、瓶300個、不燃10袋



受付ではライフジャケットやトンング、軍手などを参加者に配布。



閉会式の様子。清掃活動時の注意点、ゴミの分別、水分補給やライフジャケット着用についての注意点を説明。



南北2グループに分かれて清掃活動開始。



子供から大人まで、みんなで協力して琵琶湖をキレイにします。



車に注意しながら拾ったゴミをトラックで回収していきます。



持ち帰ったゴミはみんなで協力して分別・カウントします。



閉会式では三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 執行役員 前田様よりご挨拶を頂き、最後は参加者全員で記念撮影をして終了しました。

## ■まとめ

MUFG様との清掃活動もこれで2年目になりました。関西エリアのMUFG各グループ会社から約100名もご参加頂き、一般参加者様とも協力しながらみんなで笑顔で清掃実施しました。今年も帰帆島の周辺は漂着したゴミが多く(特にペットボトル)、ほんの数時間で大量のゴミが集まりました。日本を代表するような企業との協業は、琵琶湖や滋賀県のみならず日本全国に環境保護活動の重要性を普及させるためにはとても重要なことだと思いますので、今後も継続していければと考えております。

## 2.2.5 「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」連携事業

### 釣り人による清掃活動 with 大津市



#### 「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」連携事業 釣り人による清掃活動 with 大津市 実施要領書

##### 1. 趣旨

釣り人による清掃活動は、琵琶湖・淀川流域への恩返しの気持ちでおこないます。  
 今回の活動区域は、本年9月より開催される「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025(以下、国スポ・障スポ)」のカヌー競技が開催される瀬田川中流の大石周辺です。選手や応援者および関係者に気持ちよく来場いただくためにも、会場周辺を綺麗にし、機運醸成に努めます。  
 また、4月から大阪で開催される「大阪・関西万博」では、淀川舟運の復活に向けた取組が行われています。琵琶湖・淀川流域である瀬田川での清掃活動を通して応援します。  
 清掃活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

##### 2. 活動内容

開催日	2025年3月23日(日) (雨天中止)
活動時間	9:30~11:30 (受付は9:00から開始します。9:30までに済ませてください。)
活動場所	瀬田川・大石周辺左岸 (別紙参照:青枠)
集合場所	佐久奈度公園(大津市大石) (別紙参照:赤枠)
参加費	無料
駐車場	佐久奈度公園(大津市大石) (別紙参照:赤枠)
活動の内容	川岸、路上に落ちているゴミの回収(可燃ゴミ、ペットボトル、空き缶、空き瓶、不燃ゴミ等) ※危険のない範囲で回収 ※大型ゴミは回収不可
活動要領等	9:00 受付開始 ・受付後にゴミ袋、軍手、トング、ライフジャケット(レンタル利用の場合)を受け取って下さい。 9:30 開会式 挨拶・諸注意 9:40 清掃活動開始 (2グループに分かれての活動とします) 10:40 分別開始 ・可燃ゴミ、ペットボトル、空き缶、空き瓶、その他不燃ゴミに分け、数量のカウントを実施します。 11:15 清掃活動終了・集合写真撮影 11:30 閉会式 挨拶・解散
服装	動きやすく汚れてもよい服装(足元は長靴推奨)
持ち物	ライフジャケット(お持ちでない方にはレンタルします)
用具	トング、ゴミ袋、軍手は事務局で用意します。
災害補償	事務局で一括して傷害保険に加入します。
当日連絡先	事務局電話番号 080-3134-9767(イベント当日のみつながります)
雨天時	中止の場合前日までに各SNSでお知らせします。発表がない場合は決行です。
主催	淡海を守る釣り人の会

写真 2.16 「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」連携事業 釣り人による清掃活動 with 大津市 実施要領書 p.1 (p.2 以降省略)

## 釣り人による清掃活動with大津市

淡海を守る釣り人の会は、大津市国スポ・障スポ大会局と連携して、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025のカヌー競技およびテニス会場のあるの瀬田川大石周辺の清掃活動を実施しました。以下報告します。

### 【概要】

- ・ 日時 2025年3月23日(日)9:00～11:30
- ・ 場所 瀬田川大石左岸
- ・ 協力団体 大津市国スポ・障スポ大会局、滋賀県カヌー協会、滋賀県テニス協会、大石学区自治連合会、淡海を守る釣り人の会
- ・ 参加者 80名（京都や大阪など県外からも多くの参加者がありました）
- ・ 回収ゴミ 可燃物(45L)21袋、ペットボトル357本、缶144個、瓶69個、その他ゴミ3袋

当会としても初めての場所での清掃活動であった。1週間前の下見段階では漂着ゴミが多かったが、当日は増水してためその場所に入れずすべてのゴミが回収できなかった。今年秋に開催されるカヌー競技とテニス大会会場周辺を綺麗にできたので、全国から来られる選手、関係者、応援の方には気持ちよくおいでいただけたと思う。

淡海を守る釣り人の会の次回活動は、5/18に守山市第二なぎさ公園で第12回滋賀セブンの森を開催します。引き続きのご協力をお願いいたします。



写真 2.17 「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」連携事業 釣り人による清掃活動 with 大津市 報告書

### 3.活動の成果

#### 3.1 結果

「釣り人による清掃活動」は、活動区域の中で複数のチームに分かれ、落ちているごみを回収し、本部に持ち寄って分別を行うというものである。

2024年度の助成事業として、5回の「釣り人による清掃活動」を実施した。参加人数および回収できたごみの量は、表3.1の通りである。

ペットボトルや缶について、年配の参加者が昔懐かしいデザインのものを見つけて懐かしむ様子がたびたび見られた。誰かが回収しなければ、長期にわたって環境中に残り続けてしまうため、清掃活動の継続が必要である。

特に第32回釣り人による清掃活動を実施した、滋賀県草津市の矢橋帰帆島公園周辺は、非常に多くのごみが流れ着く場所である。時間切れとなり拾いきれなかったごみが残ってしまったため、更なる活動の規模拡大が必要となる。

表 3.1 助成事業の参加人数および回収できたごみの量

事業名	参加人数	可燃物	ペットボトル	缶	瓶	その他不燃物
第31回釣り人による清掃活動 with AXSEED	70	55	590	128	30	2
第10回滋賀セブンの森	219	77	557	122	82	2
第11回滋賀セブンの森	150	57	960	210	60	3
第32回釣り人による清掃活動 with MUFU	150	166	1,550	1,000	300	10
「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」連携事業 釣り人による清掃活動 with 大津市	80	21	357	144	69	3
合計	669	376	4,014	1,604	541	20
単位（袋は45L）	人	袋	本	本	本	袋

#### 3.2 企業・団体とのタイアップ

「釣り人による清掃活動」では、企業・団体から多大なる寄付・協力をいただいた場合に、返礼として事業名に協賛者の名前を記載している。2024年度は、株式会社 AXSEED、株式会社三菱フィナンシャル・グループ/三菱 UFJ 信託銀行株式会社（MUFU として記載）の名称を付けて事業を実施した。

また直近で実施した事業では、「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」連携事業として、「with 大津市」の名称をつけたうえ、滋賀県カヌー協会、滋賀県テニス協会、大石学区自治連合会との連携で活動をおこなった。

滋賀セブンの森は、一般財団法人セブン-イレブン記念財団、滋賀県、守山市、当会の4者で、2019年から10年間継続して活動を行う協定を結んでいる。当会は同財団からも助成を受けている。

このように、企業・団体とのタイアップによる環境保全活動を実施できれば、当方にとっては人的・物的支援や広報力を得られるうえ、先方にとってもイメージアップや福利厚生の一環が、双方にとってメリットが生まれる。環境保全活動をしてみたいと希望する企業・団体にとっての受け皿となれるよう、今後も活動を拡大していく。

### 3.3 生態系保全への寄与および参加者への発信

助成事業「釣り人による清掃活動」では、水辺の清掃活動に加え、生態系保全に向けた取り組みを実施している。同時に、参加者に生物多様性について発信する機会を設けている。

例えば、第31回釣り人による清掃活動 with AXSEED では、琵琶湖固有種であるホンモロコの産卵の時期に合わせて活動を行い、「ホンモロコが綺麗な湖岸で産卵できるように、力を合わせて清掃しましょう！」といった声かけをおこなった。活動前にホンモロコの卵が産み付けられた石を湖岸で採取し、水槽に入れて保管し、観察会も実施した。また、第10回滋賀セブンの森においては、湖岸の浅瀬に産み付けられたホンモロコの卵を直接観察しに行く企画を実施した。

滋賀セブンの森では、会場近くの大川旧河道において、生物調査と小さな自然再生を実施している。大川の河口は琵琶湖に接続しているが、土砂が堆積して繋がりが失われてしまうため、小さな自然再生として水の流出経路を少し掘って土砂が流れるようにする作業を行っている。また定年調査により、これまで見られなかったカワニナ類やタイコウチなどが現れたほか、フナ類の当歳魚及び1歳魚が多数採取され、継続して生活できていることが判明した。

活動区域の自然環境を保全することに加え、参加者が身近な自然環境に対してより一層の興味関心を持ってもらえるように努めることも、活動の目的のひとつである。



写真 3.1 清掃活動区域の湖岸に産み付けられていたホンモロコの卵



写真 3.2 琵琶湖に生息する二枚貝の生態を解説する当会メンバー

### 3.4 ライフジャケットの普及啓発

当会はこれまでにいただいた助成金を活用し、貸出用のライフジャケットを100個以上用意している。助成事業を含む全ての水辺の活動を実施する際には、参加者全員がライフジャケットを着用できるよう無償で貸出しを行っている。ライフジャケットの正しい着用方法を教えたり、購入時の選び方を伝えたり、着用を促すステッカーを配布するなど、普及啓発に取り組んでいる。



写真 3.3 活動時は参加者全員にライフジャケットを貸出ししている



写真 3.4 活動時に配布している普及啓発用ステッカー

## 4. 今後の展望

当会は、2018年度より5年間は新設川づくり団体として、また2023年度、2024年度は流域川づくり団体として、河川基金の助成を受けて活動の規模を拡大してきた。ライフジャケットをはじめとする備品を購入して活動の安全性を高め、多くの参加者を受け入れることが可能となった。清掃活動だけでなく生物多様性保全にも取り組むなど事業を拡大するなか、現在は多くの企業・団体から協賛をいただいたこともあり、2025年度からは自立的な運営に挑戦するところである。

ネイチャーポジティブやマイクロプラスチック問題などが世界的に注目されているものの、近年は子どもの自然体験機会が減少するなど、社会と自然環境との心理的距離が離れている現状がある。清掃活動や生物観察を通して身近な自然環境に親しみをもってもらいつつ、ライフジャケットの普及啓発などを通して自然の脅威といった側面も体験できる機会を、今後も提供し続けていきたい。

1人の釣り人が家族でごみ拾いをしたところから始まった当会の活動が、多くの企業・団体と力を合わせて環境保全活動を行うまでに至ったのは、河川基金の助成があったからこそである。助成を受けて活動している他団体の見本となれるよう、今後は自立的な運営に挑戦しつつ、活動をさらに拡大し、より多くの人々と水辺をつないでいくことが今後の展望である。

様式 10

3.川づくり団体部門

[実施箇所位置図]

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2024-6111-024	釣り人による清掃活動	淡海を守る釣り人の会 木村 建太
主な実施箇所	〒525-0066 滋賀県草津市矢橋町字帰帆 2 1 0 8	

助成事業の主な実施箇所



遠景



近景



河川基金ロゴ等表示状況写真